

修士論文要旨

中国における伝統音楽の保護の現状と問題

—日本との比較を通して—

岩手大学大学院総合科学研究科修士課程

総合文化学専攻

アート発信プログラム

学籍番号: G0221009

氏名: 劉 致遠 (LIU ZHIYUAN)

本研究は、中国の「非物質文化遺産」における「伝統音楽」の保護の現状と保護における問題点を日本の状況と比較して明らかにすることを目的としていた。そのため、本論では各章の順に沿って考察を行い、以下の点を明らかにした。

第1章では、まず中国非物質文化遺産網、国勢調査及び筆者が統計したデータを統合し、今日、中国の「非物質文化遺産」の保護は全体から見ると、顕著な進歩を遂げているが、具体的な保護実践においては、依然として比較的初期の段階にあり、中国の「非物質文化遺産保護」の現状から見ても、「伝統音楽」保護現状は楽観視できるものではないという真実の状況を明らかにした。

第2章では日本「無形文化財」と中国「非物質文化遺産」の分類について比較した。比較する過程で、以下の問題が明らかになっている。

- 1) 中国の「非物質文化遺産」の分類において統一された権威のある方法が欠いている問題。
- 2) 中国の四つの主要な分類法が存在する「伝統音楽」のカテゴリーで種類間の境界が不明確である問題。
- 3) 「伝統音楽」のカテゴリーが「伝統」と「民間」という二つの用語を混用する問題。これらの問題はそれぞれ以下の結果をもたらした。

1) については、政府部門が「非物質文化遺産」を認定する過程で、認定情報に偏りが生じ、「非物質文化遺産」が速やかかつ確実に保護されていない。

2) については、「伝統音楽」関連の「非物質文化遺産」が分類される際に、正確に識別されるのが困難になり、的確な保護が欠如し、さらに伝承者自身が伝承する音楽文化の種類について誤解を抱き、宣伝活動を行う際に大衆の誤解を招いた。

3) については、既に複雑な分類体系の混乱をさらに悪化させている。民間と政府の分類法やプロジェクトの命名における不一致が、民間の「伝統音楽」保護活動が政府の保護機構と効果的に連携できない状況を生み出し、各自の政策を進める状況を形成した。

第3章では、第2章で発見した「伝統音楽」に関連する二つの主要な問題について歴史的観点から探求した。「中国音楽」の発展史に深く切り込んだ検討を行った結果、この二つの問題が中国音楽学界で広く採用されている「中国音楽五分法」と直接的な関連があると分かった。こ

の「五分法」の形成は、また中国近代における二回の民族音楽研究思想の転換に根ざしていることも明らかになった。

第4章では、中国伝統音楽のいくつかの主要な伝承方式、伝承制度及びその特徴を詳しく紹介し、日本の状況と比較を行い、中国伝統音楽の伝承の困難点を見つけた。第5章を通して以下のポイントを明らかにした。

- 1) 日中両国の「伝統音楽」の伝承方式は主に三つあり、それぞれ「口伝心授」、「楽譜伝承」、「自然伝承」とされているが、日中両国の楽譜が楽曲を完全に記録することができないため、「口伝」が両国の「伝統音楽」伝承の主要な方法として広く採用されている。
- 2) 「口伝」方式の秘密性が、日中両国の「伝統音楽」伝承制度の形成の基礎となっている。
- 3) 日本の「家元制」と中国の「宗族制」は、「伝統音楽」の伝承においてその純粋性を保証するが、同時に伝承の機会を制限している。しかし、「宗族制」と比較し、「家元制」は血縁の要求がそれほど厳格ではないので、伝承の機会が比較的高い。
- 4) 中国特有の王朝交代パターンが「伝統音楽」の「断絶を経た継承」を引き起こしている。このパターンは古代の伝統音楽の伝承に影響を及ぼすだけでなく、近代中国の「伝統音楽」の伝承にも顕著な影響を与えている。このパターンは、中国「伝統音楽」の伝承における困難の主要な原因である。

第5章では、日本と中国の「伝統音楽」保護に関連する法律の立法過程、両国の伝承者保護制度の由来、および中国の「非物質文化遺産法」の実施状況について詳細に紹介した。同時に、両国の法律保護体系の比較分析を通じて、現在の中国「非物質文化遺産法」が存在する以下の問題をまとめた。

- 1) 単行法としての「非物質文化遺産法」におけるシステム性や総合性の不足の問題。
- 2) 「非物質文化遺産法」は、他の多くの保護条例や暫定的保護法との衝突が発生する問題。
- 3) 「非物質文化遺産法」の法条があまりにもあいまいで、必要な拘束力に欠ける問題。

最後に本論のすべての内容を総合し、現在の中国伝統音楽保護の厳しい現状を明らかにし、日本伝統音楽保護状況との対比を通じて、中国伝統音楽保護には分類のあいま、伝承機会の低さ、保護法拘束力の弱さ、保護法システムの混乱、伝承者認定には政府と民間の多重認定システムという問題があると結論付けた。前掲のように、中国の「伝統音楽」が今日抱えている問題は主に2つの側面に起因している。中国古代史における特殊な伝承方式と王朝交代の歴史は中国伝統音楽が伝承しにくい基礎で、中国の混乱した近代史はそれに基づいて保護上の具体的な問題を形成したと考えられる。